

ii!! TAC.通信

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

【 JA版・第811号 】

本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課提供 令和8年1月14日 更新

次回は令和8年1月28日(水)配信予定です。

★各欄の《下線部分》をクリックしていただきますと、記事内容が表示されます★

★TAC!!公式アカウント 友達募集中★

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。

ぜひご登録ください!

■登録は右のQRコードからお願ひいたします■



お知らせ

■本所TAC・営農支援課 担い手の労務管理情報を配信します! NEW

農業分野の労務課題について情報を配信します。本日配信号からスタートです。
社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆記事はこちらから

◇今後の配信スケジュール

TAC通信(奇数月第2水曜日掲載)／TAC LINE(奇数月第3月曜日配信)
担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_18(TAC広報・情報誌)にも格納します。

■三重県本部 出向く活動のレベルアップへ「パワーアップ大会」を開催(12/9) NEW

三重県本部 営農対策部は12月9日、津市のプラザ洞津で「三重県出向く活動パワーアップ大会」を開催しました。JAの出向く担当部署の担当者・管理者、JAグループや県の関係者52人が参加しました。

本大会は、地域農業の担い手に出向くJA担当者の活動の成果を共有し、相互研鑽とモチベーション向上をはかり、担い手との信頼関係を継続・醸成するためのスキルアップを目的としています。

県内でブドウを生産している農業経営者からの講演では、基本に忠実に取り組んでいることや、着色と風味のよいブドウに仕上げる工夫などを紹介しました。

県内の出向く活動事例として、JAみえなかから「担い手営農サポートシステム」を活用した活動の「見える化」の取り組みや、課内で編成したチームごとの目標設定と取り組み推進について報告しました。

県外の出向く活動優良事例では、滋賀県大津市など6市を管内とするJAレーク滋賀から、地区別チーム編成による地域農業の課題解決に向けた取り組みや、ドローンを活用した防除・施肥の受託作業の取り組みなどを説明しました。



【講演する農業経営者】

■岡山県本部「岡山県JA担い手推進活動県外視察研修(福岡県)」を実施(12/8) NEW

岡山県本部とJA岡山中央会は、県内JAの出向く体制強化を目的に、営農DXと新規就農者支援事業の先進地・福岡県で視察研修を実施しました。研修では、JAくるめの「担い手営農サポートシステム」による業務量把握や訪問管理、「nimaruJA」を活用した一斉通達による省力化など、先進的なDX事例が紹介されました。DX化を検討する県内JAにとって同システムの運用体制整備は課題であり、意見交換は熱を帯び、参加者からは「解決の糸口が見えた」との声もありました。また、福岡県本部にはNJアグリサポートのイチゴの新規就農者支援事業を紹介いただき、高収量を実現する栽培技術を持つ講師陣、施設利用を含む研修体制、臨時労働力の補填など、県内での支援促進に向けた学びを得る機会となりました。



【営農DX事例紹介に熱心に耳を傾ける研修参加者】

■岡山県本部「JA職員向け園芸用ハウス組み立て実習」を開催しました（12/7）NEW

岡山県本部は12月7日、「営農指導員強化研修」の一環として園芸用ハウス組み立て実習を行いました。同研修は3年間を通じて土壤・肥料技術、病害虫管理、農業経営などを学び、出向く活動に必要な基礎知識習得と技術力向上を目的に開催しています。今回の実習では、資材メーカーと全農生産資材課を講師に迎え、連棟ハウスの組み立てを実施しました。約20名が参加し、高所作業や手作業の難しさ、圃場の傾斜に対して水平を保つ重要性を実感しながら、ポイントを確認しました。

完成したハウスは、営農指導員の実習施設として特産花の栽培や指導に活用する予定です。当県本部は今後も地域農業に寄り添う営農指導員育成に向け、多様な研修を企画してまいります。



【ハウス建ての様子】

■栃木県本部「耕種スマート農業実演展示会」を開催（12/17）

栃木県本部 営農販売企画部 担い手支援課は、12月17日に「耕種スマート農業実演展示会」を開催しました。当日は、Z-GIS・ザルビオ等のソフトウェアや、それらとシステム連携できる農業機械に加え、リゾケア・アクアポート等の省力化技術の展示を行いました。また、セミナー会場では、ザルビオの初級・中級・上級に分けての操作体験会、今年度より栃木県本部にて設置を開始しているRTK基地局の概要説明や、RTKを活用した自動操舵実演会を実施しました。栃木県本部は、今後も県内の担い手支援に向けた取り組みを進めていきます。



【①農業機械等の展示、②ザルビオ操作体験会、③RTK自動操舵実演会の様子】

■秋田県本部「秋田アグリフロンティア育成研修」でZ-GIS講習を実施（12/16-17）

秋田県本部は12月16日-17日に、県と市町村が連携し、秋田県の次世代を担う農業者が受講する「秋田アグリフロンティア育成研修」の講義として、受講生11名を対象にZ-GISの講義をおこないました。この講義ではZ-GIS基本操作の他、圃場管理、農業経営に関する学びを深めました。秋田県本部では継続的にZ-GISの指導・普及に取り組み、次世代を担う農業者の育成・支援に努めてまいります。



【講習の様子】

■岩手県本部「JAいわて花巻ザルビオ研修会」を開催（12/9）

岩手県本部は12月9日、JAいわて花巻、BASFジャパンと共同で「JAいわて花巻ザルビオ研修会」を開催し、生産者や県内TAC・営農指導員およそ60名が参加しました。研修会では、同システムを活用している農業法人・山正（山形県）による特別講演に加え、新規導入ユーザー・導入済みユーザーに分けた階層別の操作研修を実施し、活発な意見交換の場となりました。

参加した生産者からは、「優良事例や効果的な活用方法を知る良い機会となった。今後の活用に活かしたい。」と前向きな声をいただきました。



【研修会の様子】

■群馬県本部「営農支援システムの操作研修会」を開催（12／3・12／11）

群馬県本部生産資材部担い手推進課はJA邑楽館林にて、12月3日（水）・12月11日（木）2回に分かれて営農支援システムの操作研修会を実施しました。本研修はJA支援で取り組む「系統未低利用・大規模生産者への推進体制構築」の一環で、情報の相互活用による推進活動の進捗管理や生産者情報の蓄積、推進手法の確立を目的としています。37名が参加し、PCを用いて実際の操作方法を確認しました。参加者からは「日々の出向く推進活動に、システムを活用するイメージが沸いた。このシステムを使うことがゴールではなく、出向く推進活動をより良いものにする為の1つのツールとして使っていきたい。」との感想がありました。



【研修会の様子】

■岡山県本部「農機フェア2025」でスマ農情報発信・農作業安全を啓発（11／28-29）

JAグループ岡山は11月28～29日、「農機フェア2025」を開催し、2日間で約3,500人が来場しました。農機メーカー25社による最新機械の展示をはじめ、肥料・農薬に加え環境に配慮した栽培技術や農業ICTの紹介ブースを設置し、営農に役立つ情報を提供しました。併せて農作業事故体験VRを用いた安全啓発活動を行い、農作業現場における危険性の周知や安全対策の重要性を学ぶ機会も提供しました。

農業ICTブースではザルビオやZ-GISなどのスマート農業技術を紹介し、来場者から関心の高さが伺え、操作体験では「簡単に使える」「マップの見方が分かった」と好評でした。JAグループ岡山は、これからも地域性や規模に応じた農業機械や栽培技術提案を通じて、生産者一人ひとりの営農を総合的に支援します。



【農業ICTブースの様子】

■秋田県本部「スマート農業指導士育成プログラムでZ-BFMの講習」を開催（11／17）

秋田県本部は11月17日、スマート農業指導士育成プログラムでZ-BFMの講義を実施しました。今回はJA職員や生産者、県職員ら24名に対し、Z-BFMの基礎～応用演習まで組み入れた講義を行い、営農計画の策定について学びを深めました。講義中は現場での活用を見越した質問が飛び交いました。受講生は今回学んだ内容を、プログラム後半で行うスマート農業導入の最終プレゼンテーションで費用対効果を示す指標として活用します。



【講習会の様子】

■AFJ日本農業経営大学校オンラインスクール

「寺坂農園に学ぶ 農家のための共感マーケティング」講座のご案内

AFJ日本農業経営大学校オンラインスクールは、2026年1月13日（火）～15日（木）の日程で、「寺坂農園に学ぶ 農家のための共感マーケティング」講座を開催いたします。

（各回 12:30～13:30 のうち、お好きな日にちにご受講いただけます）

SNS・DM・接客といったさまざまな顧客接点を戦略的に活用し、お客様の共感を生み、育て、リピーターへつなげていくための実践ノウハウを学ぶオンライン講座です。

体験講座の詳細は本校HPでご確認いただけます。

https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/empathy_marketing/



経営・労務相談

■ 担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。 経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、以下の相談票に記入の上、本所TAC・営農支援課まで送付ください。

※無料ですので、積極的にご活用ください。

経営・税務相談票は[こちら](#)

■ 担い手の労務管理情報を配信します！NEW

農業分野の労務課題について情報を配信します。本日配信号からスタートです。

社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆記事は[こちらから](#)

◇ 今後の配信スケジュール

TAC通信（奇数月第2水曜日掲載）／TAC LINE（奇数月第3月曜日配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_18（TAC広報・情報誌）にも格納します。

■ 農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！

実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆記事は[こちらから](#)

◇ 今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_17（新規就農・事業承継・税務相談）にも格納します。

配信月 | テーマ

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！

5月 農地の取得・保有・譲渡編

6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）

7月 青色申告編-①

8月 青色申告編-②

9月 法人化編

○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る

チェックポイントを全5回シリーズで解説！

10月 集落営農法人の事業承継

11月 個人親子間

12月 法人親子間

1月 個人第三者承継

2月 法人第三者承継

○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！

3月 経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

技術情報

■農研機構 技術情報 「イチゴの収量を品種ごとに計算する Web-API 「NARO 生育・収量予測ツール②イチゴ」」

(農研機構HPへリンク) NEW

今回は、イチゴの収量を品種ごとに計算するWeb-API「NARO生育・収量予測ツール②イチゴ」の研究成果を紹介します。

「NARO生育・収量予測ツール②イチゴ」は、栽培情報、施設内の環境情報、生育情報を用いて、品種ごとに乾物生産や収量を計算するツールである。施設栽培のイチゴにおける夏秋どり栽培および促成栽培に対応している。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_ (TAC広報・情報誌) にリンクを貼付しています。

(出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より)

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農業研究室 技術情報 あぶらな科野菜につくイモムシの見分け方

(アピネス／アグリインフォHPへリンク) NEW

今回はキャベツやブロッコリーなど、あぶらな科野菜につくイモムシの見分け方について紹介します！

害虫を見分け、適切に防除しましょう！

扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_ (農業) にも格納してあります。

(出典：アピネス／アグリインフォHP 営農情報より)

農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいている。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げる農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関わるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形



91NOUGYOU

事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆さんに「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_ (新規就農・事業承継) にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。[こちら](#)からご確認いただけます。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国扱い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver. のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一歩目のツールとして使いやすいものとなっていますので、扱い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS

👏 !! Z-GIS の動画のご紹介 !!



全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。
Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや扱い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023/2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成（TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■全農本所TAC・営農支援課 令和7年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和7年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第8～10回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください！ 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
1	6/3（火）	10:00～15:00	農業を取り巻く情勢・取り組み

2	7／9（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報①
3	8／5（火）	10：00～15：00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	9／3（水）	10：00～15：00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	10／8（水）	10：00～15：00	会計・税務研修①
6	11／5（水）	10：00～15：00	会計・税務研修②
7	12／3（水）	10：00～15：00	会計・税務研修③
8	1／7（水）	10：00～15：00	総合事業連携の取り組み
9	2／4（水）	10：00～15：00	生産資材・技術情報②
10	3／4（水）	10：00～15：00	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■全農本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピ、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2025」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）に投稿済です

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

①上記URLを開き、必要事項を入力

②入力内容を確認し、利用規約に同意する

③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる

④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている

- ⑤ダウンロードされた担い手サポートシステム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
 ⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
 ⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。

(ナレッジURL : https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge_kav/ka02x000000WRyxAAG/view)
 ※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階
 株式会社 全農ビジネスサポート
 担い手営農サポートシステムヘルプデスク
 TEL : 03-3350-1157
 Eメール : ninaito-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

【 12月 】月間ランキング

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/12/01 ~ 2025/12/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,247	66	34.0
2	JA仙台	1,448	36	40.2
3	JA金沢市	1,354	26	52.1
4	JA南彩	1,263	11	114.8
5	JAさいたま	1,216	15	81.1
6	JAむなかた	1,177	12	98.1
7	JA常総ひかり	1,070	16	66.9
8	JA岡山	967	32	30.2
9	JA水郷つくば	906	31	29.2
10	JAフルーツ山梨	895	25	35.8

(訪問期間:2025/12/01 ~ 2025/12/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA柏屋	300	2	150.0
2	JA京都にのくに	149	1	149.0
3	JAあさか野	810	6	135.0
4	JAよこすか葉山	789	6	131.5
5	JAあきた北	743	6	123.8
6	JAさいがつ	483	4	120.8
7	JA足利	239	2	119.5
8	JA南彩	1,263	11	114.8
9	JAなす南	427	4	106.8
10	JAむなかた	1,177	12	98.1

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★1月13日登録までの集計

【 12月22日～1月11日 】週間ランキング集計

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/12/22 ~ 2026/01/11)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	1,015	61	16.6
2	JAむなかた	782	11	71.1
3	JA仙台	713	37	19.3
4	JAさいたま	677	15	45.1
5	JA南彩	662	11	60.2
6	JA金沢市	617	25	24.7
7	JAあさか野	479	6	79.8
8	JAえひめ未来	473	19	24.9
9	JAよこすか葉山	451	6	75.2
10	JA常総ひかり	445	16	27.8

(訪問期間:2025/12/22 ~ 2026/01/11)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAあさか野	479	6	79.8
2	JAなす南	234	3	78.0
3	JAよこすか葉山	451	6	75.2
4	JAさいがつ	297	4	74.3
5	JAむなかた	782	11	71.1
6	JAあきた北	402	6	67.0
7	JA南彩	662	11	60.2
8	JA足利	114	2	57.0
9	JA柏屋	107	2	53.5
10	JAふくおか八女	101	2	50.5

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★1月13日登録までの集計

最近のメディア

○スマート農業情報

Z-GISのアップデート情報（積算気温抽出機能）

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）に格納

○グリーンレポート1月号 NEW

新技術セミナー～平坦地におけるスマート農業機械の活用～

JAと連携した農業普及活動～京の新特産品「京おくら」の普及～

営農アシスト～生命共済を活用した“相続・相続税対策”について～

担い手とともに～JA夢みなみ「みえるらべる」取得による販路拡大～

○経営実務11・12月号 NEW

いまこそTACだ！！ 島根県 JAしまね 菊地雅也氏

○地上2月号 NEW

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。

○全農Wiークリー

[2026年1月1日 \(vol. 1133\) NEW](#)

※T A C活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○AGRIFUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行 \(6/25\)](#)

◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）

◆クローズアップ：新しょうがレシピ

◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」

フリーペーパー：各県域T A C部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

①全農全国高等学校カーリング選手権大会が開幕～選手たちを「もぐもぐブース」で応援～NEW

②「国産大豆商品発見コンテスト」受賞者決定！～受賞団体へ表彰をおこないました！～NEW

③「石川佳純 47都道府県サンクスツアーブーin鳥取」4年の歳月をかけて全国を巡り、遂に完走！NEW

○農業協同組合新聞

①仕事にやりがい、職員を大切にする経営を JA人づくりトップセミナー JA全中（1）NEW

②仕事にやりがい、職員を大切にする経営を JA人づくりトップセミナー JA全中（2）NEW

③鳥インフル コロンビアからの家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

④みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践（92）キノン（求電子系）【防除学習帖】第331回NEW

⑤農薬の正しい使い方（65）除草剤の作用機作【今さら聞けない営農情報】第331回NEW

⑥今年の一文字は「翔」 山野全中会長NEW

⑦米価水準 「下がる」見通し判断増える 12月の米穀機構調査NEW

⑧鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑨鳥インフル 英国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑩外食市場調査 11月度 2019年比89.6% 5か月ぶりに後退NEW

⑪「なくてはならない全農」への決意 消費促進へ牛乳で乾杯 全農賀詞交換会NEW

⑫鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑬JAグループの結集を JA中央機関新年賀詞交換会NEW

⑭緑茶の輸出 昨年比1.6倍 11月実績NEW

⑮鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑯鳥インフル 英国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑰【2026新年号】石破茂前首相インタビュー JAと政府、思い一つにNEW

⑱1月の野菜生育状況と価格見通し キャベツ、レタスは平年を下回る見込み 農水省NEW

⑲鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省NEW

⑳【年頭あいさつ 2026】将来にわたって日本の食料を守り、生産者と消費者を安心で結ぶ 折原敬一 全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長NEW

㉑【年頭あいさつ 2026】利用者本位の活動基調に 青江伯夫 全国共済農業協同組合連合会経営管理委員会会長NEW

㉒【年頭あいさつ 2026】金融・非金融で農業を支援 北林太郎 農林中央金庫代表理事理事長NEW

㉓【年頭あいさつ 2026】食料安全保障の確保に貢献 山野徹 全国農業協同組合中央会代表理事長NEW

㉔みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践（91）ビスグアニジン【防除学習帖】第330回NEW

㉕農薬の正しい使い方（64）生化学的選択性【今さら聞けない営農情報】第330回NEW

㉖【2026新年号】鈴木憲和農相インタビュー 先見通せる農政めざすNEW

㉗農業予算 250億円増 2兆2956億円 構造転換予算は倍増NEW

㉘【スマート農業の風】（21）スマート農業を家族経営に生かすNEW

㉙米の「民間備蓄制度」に疑問や反発 食糧部会NEW

㉚家庭での米消費、前年比11.7%減 マイナス幅拡大、「新米不振」裏付け 米穀機構11月調査NEW

㉛日本産の米・米加工品の輸出促進策を議論 「GOHANプロジェクト」で事業者が意見交換 農水省NEW

㉜病害虫発生情報

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課

TEL:03-6271-8276

FAX:03-5218-2535

mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp



[HP](#)

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2025「大会宣言」

我々TACは、

一、担い手とともに、新たな技術と知恵で、

持続可能な農業を創造します。

一、JAグループの総合力を結集し、

多様なニーズに応えます。

一、地域社会を守るため、

「食」と「農」をつなぐ架け橋となります。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★

※お休み等で配信日が変更となることもございます。ご了承ください。